

## 競技者交代の流れ (クイック・サブスティチューション)

※従来の監督やゲームキャプテンが行う**ハンドシグナルの要求は、なくなりました。**

- ① 交代競技者がサブスティチューション・ゾーンに入ったら、副審がハンドシグナルを示し吹笛する。主審もハンドシグナルを示す。

※ゾーンに入ってきて、コートの中に入る準備ができていない状態 (ジャージを脱いでいる、クツを履きなおしている、くつヒモを結んでいる、膝のサポーターを付けようとしているなど) なら拒否をして遅延の罰則をする。公式記録用紙に記載する。

※もし副審が気づかない場合は、選手または監督さんは口頭で「メンバーチェンジ」と従来のように口頭で言ってもらえると助かります。あくまでも強制ではありません。**その際の、ハンドシグナルも不要です。**

- ② 交代する競技者は、片手を挙げる。

※交代する選手は、コートにいる選手に交代したい番号を教えてください。入れ替わる選手が来ない状況なら、**副審の方がサポートしてあげてください。**

- ③ 選手が重ならないように (記録員に番号が見えるように) サイド・ライン上に止まる。**左寄りに選手は寄らなくてよくなりました。**

※入れ替わる時の「選手同士が一礼をする行為」は必要はありません。

- ④ **副審はボールのそばに立ったまま**で、記録員と確認作業 (今まで通り) をする。

- ⑤ 記録員は交代の確認ができれば、手を挙げて合図を送る。交代できない場合は、横に大きく手を振る。

- ⑥ 正確に記録員が記録用紙を記入して、完了したら両手を上げる。  
※書込み作業が終わるまで待ちましょう。

- ⑦ 複数の競技者交代の場合は、**複数の選手が連なってサブスティチューション・ゾーンに入って下さい。**交代作業は、**1組ずつ**行います。

**2組目の選手は、1組目の交代作業のジャマにならないように、ゾーンの後ろもしくはアタックライン側で待機させて下さい。**しかし、ゾーンの外では待たさないように心がけて下さい。

- ⑧ 交代競技者がサービスの吹笛後にサブスティチューション・ゾーンに入った場合は、拒否をして**不当な要求**とする。公式記録用紙に記載する。(不当な要求の2回目は、遅延警告になります)

- ⑨ 交代競技者がサービスの吹笛後にサブスティチューション・ゾーンに入り副審が吹笛した場合は、拒否をして**遅延の罰則**をする。公式記録用紙に記載する。(遅延警告の2回目は、遅延反則になります)

